

2026年5月14日
スカイマーク株式会社

2040年のスカイマークの姿を社員が描く 「SKYMARK DREAM PITCH」を開催 ～創業30周年を前に、社員が社長へ自らの「夢」を直接プレゼン～

スカイマーク株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:本橋 ^{もとほし} ^{まなぶ} 学)は2026年5月13日(水)、社員参画型のプレゼン大会、「社長に挑戦! SKYMARK DREAM PITCH」を本社にて開催いたしました。

さまざまな部門から全社員投票を経て選出された13チームが、2026年11月に迎える創業30周年という大きな節目を前に、「2040年にスカイマークがどうあってほしいか、自分がどうなりたいか」という「夢」を社長へ直接プレゼンテーションしました。



ピッチを行う社員



優勝チーム表彰の様子

■具体的な事業計画ではなく「夢」を語る

本ピッチ大会は、具体的な事業計画や実現性はあえて問わず、社員が「なりたい姿」を自由に描くことを目指して開催されました。部署や職種の垣根を越えた仲間たちが未来のスカイマーク像を語り合い、5分間という限られた時間の中で、熱意あふれる提案が次々と飛び出しました。

※PITCH:ビジネスアイデアを短時間で簡潔に伝える、短いプレゼンテーションのこと。「投げる」が語源で、魅力や独自性を短い時間で伝えて関心を引き出すことが目的。

■スカイマークが大切にする「5つの価値観」で審査

審査にあたっては、単なる将来における事業の収益性だけではなく、当社が未来に向けて大切にしたい価値観を反映した「5つの項目」を指標に判断しました。

- ・スカイマークらしさ(独自の価値を体現しているか)
- ・ワクワク感(社員もお客様も心が躍るか)
- ・この夢に共感!度(多くの仲間の心を動かすか)
- ・社会的インパクト(社会に対してポジティブな変化を与えられるか)
- ・プレゼン力(想いを伝える熱量と説得力)

全社員による事前投票の得点と、上記5つの指標に基づいた審査員による採点を合算し、多角的な視点からグランプリを選定しました。

■グランプリを受賞したチームはスカイマーク独自の教育機関を提案

未来の航空業界を担う人財を長期的な視点で育成する幼小中高大一貫の航空教育機関「スカイマーク・ミラクル・アカデミー」の設立を提言し、審査員から深い共感を得ました。

■サービス改革の専門家 松井 拓己氏を社外審査員に招聘し、プロの目線で評価

審査には、社長の本橋をはじめとする経営陣に加え、社外審査員としてサービスサイエンティストの松井 拓己氏をお招きしました。松井氏はサービス改革の専門家として、数々の企業の成長を支援されており、当日は「専門家の視点」から各チームの「夢」に対する鋭くも温かい講評をいただきました。

松井 拓己氏プロフィール

サービスサイエンティスト(サービス改革の専門家)として、サービスやCSの本質論を活かした組織的なサービスレベル向上を中心に、様々な業種・業界のビジネスを支援。その他に、企業の社外取締役、官公庁の外部委員、日本サービス大賞の選考委員、サービス学会の理事、大学の非常勤講師なども務め、業種を越えたサービスイノベーションの専門家としてメディア取材を受けるなど多方面で活動。代表著作に「事前期待〜リ・プロデュースから始める顧客価値の再現性と進化の設計図〜」などがある。

松井氏が代表を務める松井サービスコンサルティングの公式HP：<https://www.service-kaikaku.jp/>

以上